



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 粧美堂株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7819 URL <https://www.shobido-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 正秀
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 斉藤 政基 (TEL) 03-3472-7890
 四半期報告書提出予定日 2021年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	10,434	△4.0	377	61.9	402	52.7	247	61.4
2020年9月期第3四半期	10,869	△14.2	233	△1.3	263	1.0	153	8.1

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 333百万円(80.0%) 2020年9月期第3四半期 185百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	18.57	—
2020年9月期第3四半期	11.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	13,512	5,261	38.3
2020年9月期	13,255	5,142	38.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 5,179百万円 2020年9月期 5,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年9月期	—	5.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	△1.0	250	124.6	290	95.3	120	97.2	9.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2021年8月10日)公表いたしました「2021年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 台湾妝美堂股份有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	13,410,000株	2020年9月期	13,410,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	200,177株	2020年9月期	177株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	13,317,764株	2020年9月期3Q	13,409,851株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年10月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響により、3回目の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が実施されるなど、社会経済活動が大幅に制限される状況が続きました。また足許においても7月に東京都において4回目の緊急事態宣言が発令され、高齢者を中心にワクチン接種が進行しているものの、社会全体としては未だに厳しい状況が続いております。

当第3四半期連結累計期間における売上高は、引き続き商品・取引先別に採算性の見直しを継続したことに加えて、上記のような新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅勤務の浸透による当社商品のメインユーザーである若年層の女性の外出機会の減少や取引先小売業・テーマパーク等への休業要請・営業時間の短縮など厳しい状況が続いた結果、対前年同期比4.0%減の10,434,684千円となりました。自社企画商品の売上は7,946,988千円(対前年同期比0.6%増)とほぼ横ばいとなり、構成比については76.2%と前年同期の72.7%から大きく上昇しております。差引売上総利益額は3,172,063千円で対前年同期比1.3%減となりましたが、前期から取り組んでいる取扱い商品の見直し効果が着実に出てきており、同利益率は30.4%と対前年同期比0.8ポイント上昇しました。また販売費及び一般管理費は、広告宣伝費、販促費について費用対効果を重視し選別的に支出した結果、対前年同期比6.2%減の2,794,838千円となり、営業利益は対前年同期比61.9%増の377,224千円、経常利益は対前年同期比52.7%増の402,494千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は247,347千円(対前年同期比61.4%増)となりました。

当社グループの事業セグメントは、単一の事業セグメントであります。取扱い商品を区分した売上高の概況は次のとおりであります。

① 化粧雑貨

当分類には、メイク関連用品、ヘアケア関連用品、トラベル用品、バス・エステ・健康関連グッズ等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症予防から生活必需品となったマスク類やアルコールハンドジェルなどの衛生関連商材、また注力カテゴリーであるネイル関連やキッズコスメなどが好調に推移したものの、外出自粛傾向が続いていることでパフ、メイクブラシなどメイク関連用品の不振もあったことから、6,632,797千円(対前年同期比0.7%減)とほぼ横ばいとなりました。

② コンタクトレンズ関連

当分類には、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、海外でのコンタクトレンズ売上は拡大傾向が続くものの、国内では消費者の外出自粛が続いていること等からコンタクトレンズの需要が低迷したことにより、1,884,540千円(対前年同期比10.0%減)となりました。

③ 服飾雑貨

当分類には、バッグ、ポーチ・ケース、サイフ類、その他服飾小物の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、エコバックやポーチ関連の売上が増加したものの、トートバッグやリュックサック、サイフ類の売上が減少したことにより、1,261,430千円(対前年同期比1.3%減)となりました。

④ その他

当分類には、生活雑貨、文具、行楽用品、ギフト商品等の売上が含まれます。当第3四半期連結累計期間の売上高は、タオル類の売上が減少したほか、ギフト商品の企画数の絞り込みを継続したことから、655,916千円(対前年同期比19.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて256,128千円増加し、13,512,102千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて110,557千円増加し、9,709,851千円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が148,990千円、有価証券が300,000千円、商品及び製品が49,913千円増加したことに対し、その他が404,483千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて145,571千円増加し、3,802,251千円となりました。

これは主に、土地が61,800千円、のれんが266,483千円増加したことに対し、投資有価証券が88,082千円、投資その他の資産のその他が91,263千円減少したこと等によるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて137,127千円増加し、8,250,884千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて278,263千円増加し、4,359,187千円となりました。

これは主に、短期借入金が100,000千円、1年内返済予定の長期借入金が75,000千円、その他が80,028千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて141,136千円減少し、3,891,696千円となりました。

これは主に、資産除去債務が38,849千円、その他が28,381千円増加したことに対し、長期借入金が217,000千円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて119,000千円増加し、5,261,217千円となりました。

これは主に、利益剰余金が113,934千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月11日に公表いたしました2020年9月期決算短信記載の「2021年9月期の連結業績予想」の修正を行っております。詳細につきましては、本日(2021年8月10日)公表いたしました「2021年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2021年9月期通期連結業績予想の修正(2020年10月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,400	200	200	70	5.27
今回修正予想(B)	13,800	250	290	120	9.03
増減額(B-A)	△600	50	90	50	
増減率(%)	△4.2	25.0	45.0	71.4	
(ご参考)前期実績(2020年9月期)	13,939	111	148	60	4.54

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,652,813	4,623,192
受取手形及び売掛金	2,326,544	2,475,534
有価証券	200,000	500,000
商品及び製品	1,360,249	1,410,162
原材料及び貯蔵品	90,372	105,422
為替予約	155,313	184,424
その他	816,498	412,014
貸倒引当金	△2,496	△900
流動資産合計	9,599,293	9,709,851
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,565,599	1,627,399
その他(純額)	1,272,262	1,278,820
有形固定資産合計	2,837,862	2,906,220
無形固定資産		
のれん	—	266,483
その他	50,773	42,994
無形固定資産合計	50,773	309,477
投資その他の資産		
投資有価証券	301,725	213,642
その他	467,289	376,025
貸倒引当金	△969	△3,116
投資その他の資産合計	768,044	586,552
固定資産合計	3,656,680	3,802,251
資産合計	13,255,973	13,512,102
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,694,318	1,754,855
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,811,000	1,886,000
未払法人税等	7,273	33,899
賞与引当金	141,672	76,644
返品調整引当金	25,500	26,600
その他	401,160	481,188
流動負債合計	4,080,924	4,359,187
固定負債		
長期借入金	3,820,500	3,603,500
役員退職慰労引当金	93,350	101,983
資産除去債務	32,515	71,365
その他	86,466	114,848
固定負債合計	4,032,832	3,891,696
負債合計	8,113,756	8,250,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	545,500	545,500
資本剰余金	264,313	264,313
利益剰余金	4,095,335	4,209,270
自己株式	△87	△81,051
株主資本合計	4,905,061	4,938,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,775	53,418
繰延ヘッジ損益	104,512	123,544
為替換算調整勘定	14,316	64,641
その他の包括利益累計額合計	177,604	241,605
非支配株主持分	59,551	81,581
純資産合計	5,142,216	5,261,217
負債純資産合計	13,255,973	13,512,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,869,666	10,434,684
売上原価	7,674,446	7,261,520
売上総利益	3,195,219	3,173,163
返品調整引当金戻入額	41,400	25,500
返品調整引当金繰入額	23,300	26,600
差引売上総利益	3,213,319	3,172,063
販売費及び一般管理費	2,980,301	2,794,838
営業利益	233,017	377,224
営業外収益		
受取利息	4,956	4,386
受取配当金	5,254	4,155
受取手数料	7,231	7,313
不動産賃貸収入	44,369	81,276
為替差益	8,903	18,163
その他	18,310	3,289
営業外収益合計	89,024	118,585
営業外費用		
支払利息	17,321	17,814
不動産賃貸費用	40,555	74,509
その他	574	992
営業外費用合計	58,452	93,316
経常利益	263,590	402,494
特別利益		
投資有価証券売却益	30	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
関係会社整理損	—	66,192
特別損失合計	—	66,192
税金等調整前四半期純利益	263,620	336,301
法人税、住民税及び事業税	44,141	48,843
法人税等調整額	64,454	25,457
法人税等合計	108,595	74,300
四半期純利益	155,025	262,000
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,763	14,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,261	247,347

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	155,025	262,000
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,247	△5,356
繰延ヘッジ損益	42,724	19,032
為替換算調整勘定	△15,746	57,700
その他の包括利益合計	30,226	71,377
四半期包括利益	185,251	333,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	184,785	311,348
非支配株主に係る四半期包括利益	466	22,029

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

事業分離

(子会社株式の譲渡)

当社は、2021年3月25日開催の取締役会決議に基づき、2021年3月30日付で連結子会社である台湾粧美堂股份有限公司（以下、「台湾粧美堂」）の全株式を昕琦科技股份有限公司に譲渡する旨の株式譲渡契約書を締結し、2021年4月30日に株式譲渡を行いました。これに伴い、台湾粧美堂を連結の範囲から除外しております。

1. 事業分離の概要

(1) 分離先企業の名称

昕琦科技股份有限公司

(2) 分離した事業の内容

コンタクトレンズの台湾国内販売及び輸出

(3) 事業分離を行った主な理由

当社は、2015年7月22日に海外市場拡大の拠点として、台湾に台湾粧美堂を設立いたしました。現地の大手ドラッグストアやコンビニエンスストアを中心に、コスメコンタクト®の販売拡大を図ってまいりましたが、昨今の価格競争の激化、さらには世界的な新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中期的にも業績回復は見込めないものと判断し、当社が保有する台湾粧美堂の株式全てを譲渡いたしました。

(4) 事業分離日

2021年4月30日（みなし売却日2021年4月1日）

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 移転損失の金額

△66,192千円

(2) 移転した事業に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	102,438千円
固定資産	86,813千円
資産合計	189,251千円
流動負債	8,811千円
負債合計	8,811千円

(3) 会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を「関係会社整理損」として特別損失に計上しております。

3. 分離した事業が含まれていた報告セグメント

当社グループの事業セグメントは、単一セグメントであるため、該当事項はありません。

4. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に計上されている分離した事業に係る損益の概算額

売上高	40,687千円
営業損失	22,720千円

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)には2021年9月期において徐々に収束していくという仮定を置き会計上の見積りを行っていましたが、緊急事態宣言の再発令や特定地域においてまん延防止等重点措置が実施されるなどの状況を踏まえ、当社グループの業績に対する影響の不確実性を考慮し改めて検討を行いました。その結果、重要な変更はありません。